

ぬをば、はじかみをいれてすりて書也、秘説也。

〔榮花物語十二玉の村麴〕この御時の御即位一條大嘗會御禊などの程の事ども、すべてめづらしくや

むごとなき事かすゑならず、年中行事の御障子にも、かきそへられたる事ども、いとおほくなむあなる。

〔江談抄二雜事〕喫鹿安人當日不可參内裏事

又被命云、喫突當日不可參内裏之由、見年中行事障子略。又年中行事障子被始立之時、不知何世、

可檢見也。

〔宣胤卿記〕文明十二年三月廿七日丁未去夜除日、今日至未刻以外事也略。外記復本列、次予揖註。

略入無名門略。昇自右青環門略。經年中行事障子南自事障子方直東行セズ、年中行事障子方昇也、不經上戸、并御殿南簀

子登自孫庇南妻、

〔台記〕久安三年七月廿六日戊子、依吉日初立、年中行事障子、去十三日造始之、令宮内大輔定信遣障

彼家書之、造并立、日令雅樂頭泰親擇申之、不召泰親、以親隆消息問之、延久元年七月、故京極殿子時右大依一條

左大臣雅源信例被立之、由見御曆、因之所立也、先日以可立之狀申禪閣忠藤原及攝政殿子忠實矣、

○按ズルニ、此年中行事障子ハ、禁中ノモノニ非ズト雖モ、今類ヲ以テ此ニ載ス、

〔玉藻〕承元四年九月一日丙戌、仲基入道來談占事、松殿基房九條御時、土居障子被書、年中行事被寫內殿

年中行事、是先烈云々、
同書之、

〔夏山閑話〕昆明池の障子は、名目こめい池なり、こんめい池といふはわろしとなり、

〔漢書六武帝〕元狩三年、滅隴西北地上郡戍卒半、發譴吏穿昆明池、如淳曰、食貨志以舊吏弄法、故譴使

南夷傳有越雋、昆明國有滇池、方三百里、漢使求身毒國、而爲昆明所閉、今欲伐之、故作昆明池、
象之、以習水戰、在長安西南、周回四十里、食貨志又曰、時越欲與漢用船戰、遂乃大修昆明池也、

〔も、しき〕清涼殿